

隣保館だより

2025年11月
発行 新発田市隣保館
住吉町2丁目3-28
TEL/FAX 26-5984

5月 寄せ植え教室

新発田農業高校草花園芸専攻コースの生徒から、花の植え方を教えてもらい、楽しく活動することができました。

秋の寄せ植えも楽しみです。



第2回 寄せ植え
11月21日(金)
13:30から
シクラメン・ビオラ
寄せ植え



中野小路たかまるさんの
「防災、防犯痛快トーク！」
日頃の、意識と、ご近所さん
との交流が大事だて。

7月 町内会と合同 避難訓練と防災学習



7月 夏休み子ども体験教室

「体験教室」では、地域の方に協力いただき、おまつり広場、工作コーナー、科学実験をしました！



10月 町内敬老会、健康講座

「高齢福祉課による介護保険について」の講話
日頃の心配事や健康、福祉、介護保険について
お話を聞きました。



— 今後の予定 —

◎2025年度人権啓発講座

日時 11月12日(木) 14:00～
会場 隣保館
講師 落語家 露の新治さん
演題 「笑顔で暮らす、願いに生きる」

◎しばた人権フェスティバル

日時 12月7日(日)
会場 市生涯学習センター
講師 川口 泰司さん
演題 「ネット人権侵害と部落差別の
現状～「寝た子」はネットで起こされる!～」

フィルターバブル現象ってなあに？

今多くの人々が、ニュースや情報をSNSやインターネットから得ています。

特に若い世代では、ネットが主な情報源となっています。

ネット上では、自分の考えや嗜好に合った情報ばかりを見る傾向があり、似た考えや情報だけが集まり、ほかの意見が見えにくくなることがあります。

この現象を「フィルターバブル現象」といいます。

「フィルターバブル現象」に陥らないためにも、人と人とのコミュニケーションを大切にすることが重要です。さまざまな意見や考えにふれることで、たがいを理解し、人権を尊重する社会につながるのではないのでしょうか。



誰かのことじゃない ～育てよう人権の木～

■企業活動と人権問題 ～社会から信頼されるために～

企業活動において、人権を尊重することは、今や社会的責任の一つとなっています。経済産業省も「人権デュー・デリジェンス」の推進を重視しており、利益だけでなく、お客様はもちろん、その会社で働く人も大切にすることが求められています。

「Apple サポートの対応に込められた人権配慮」

Apple 社では、電話サポートのアナウンスの中で、「最善の支援を提供するために、アドバイザーには親切丁寧な対応をお願いします。」という一文があります。これは、利用者にとっては「最善の支援を受ける権利」を尊重すると同時に、サポートを対応するスタッフにとっても、暴言や理不尽な要求から守られる心理的な安全を保証するような内容が含まれています。この短くシンプルなフレーズにも、お客様と、スタッフ両方を大切にする「人権への配慮」の思いが込められています。



※「人権デュー・デリジェンス」とは、
国が推進する企業の人権配慮の取り組み

—暮らしの情報—



熊出没特別警報！

新発田市では、10月7日時点で83件のクマ出没情報が寄せられ、そのうち32件は、市街地や民家敷地内などでの情報となっており、クマが人の生活圏に侵入しつつあります。ついては、人身被害を防ぐため、山間部や市街地を問わず、クマがいることを想定し、命を守る行動をお願いします。

新発田市